

丸山湿原群保全の会会報

(第 141 号)

発行日：2019 年（H31）4 月 22 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）^{いますみ}

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

新年度が始まりました。環境変化の多い時期、いかがお過ごしでしょうか。季節は春。といいながら肌寒い日が多く続きました。おかげ？で桜の時期は長く楽しめたようです。西谷で最初に目につく花はタムシバですが、先日の遅霜のせいか、咲き始めたと思ったらなくなっているみたいです。コバノミツバツツジは盛りを迎えつつあります。今年は平野部と約 2 週間の違いがあるように感じます。トンボの出現も遅く、サナエ類がやっと羽化し始めています。

奇妙な気候ですが、毎年同じことを言っているようなので、これが普通なのかもしれません。自分の感覚を疑ってしまう今日この頃です。皆様ご自愛ください。

(今住 4 月 20 日作成)

定期活動 ★3 月 24 日（日）「北摂里山愛す会」との協働 8 名で活動

1 月末に計画した活動のリベンジです。ところがこの日は「愛す会」の研修が入っていたそうで、勝手な日程を組み失礼したと反省しています。1 名でも参加していただければとお声掛けしました。結果、見事 1 名の方が参加してくださいました。しかも「北摂里山大学」今期の卒業生！第 4 湿原再萌芽の刈り取り。申し訳ないけどこき使わせていただきました。まだ第 4 湿原の又マガヤ刈り取りも残っていて、そちらも同時進行しました。



第 4 湿原山側再萌芽作業中



第 4 湿原への渡り橋から



作業後の第 4 湿原

少人数ながら、大変真面目（めずらしく？）な作業で、計画していた面積の 3 分の 2 ぐらいは達成できたのではないかと喜んでいます。しかも手仕事で…皆様ご苦労様でした。

毎年雪でしくじっていますので日もう少し暖かい時期に計画します。「北摂里山愛す会」の皆さん見捨てないでね。

3 月末の活動ということで、**タチツボスミレ**（立蕾菫）や**シハイスミレ**（紫背菫）が咲き出していました。木本類も**クロモジ**（黒文字）が花芽を膨らませ、**ヒサカキ**（姫榊・非榊）は匂いをプンプンさせて咲いています。湿原内の植物もそろそろ活動を開始し始める頃です。まだひっそりしていますが、湿原内の作業は今回が最後。湿生植物の成長を



ヒサカキ雄花（雄株）



クロモジ開花直前

見守る時期になりました。

そういえば両生類調査で見つけた卵塊・卵囊はどうなったのでしょうか？成体になってまた戻ってきてほしいものです。

前回の会報に「カラスが卵を食べる？」と記載したところ、神戸市北区の棚田周辺では、アライグマやイタチ類が成体を捕食しているとの情報



(参考) かじられたセトウチサンショウウオ成体

が入りました。餌が少ない時期に効率よく確保ということのようです。自動定点カメラで撮影され確認されているとのこと。卵塊・卵囊がバラバラ状態で発見されたらアライグマも疑わなくてはならないとのことでした。人の脅威だけでなく外来種の脅威も大きくなっているようです。セミナーでも指摘があったような。

しかし**西谷はカラス説が最有力と私は考えています。**恐ろしく賢くなっています。人の行動をジーンと観察しているような…カスミ…いやセトウチサンショウウオの卵囊を私が見ていると、そこに「何かがある」と判断。後でつづいて食べるのでは？下に成体（多分み）がい



(参考) 目立たない卵囊と目立つ卵囊結局両方消えた！

るともっとラッキー？卵に関しては光るものと判断して巣に持ち帰ろうとするのかもしれませんが。(習性)あくまで勝手な推測です。思い過ごしでしょうか？アオサギもいるしな～。こいつらも困りものです。私は「怪鳥」と呼んでいます。根本原因は生態系のバランスが崩れてきている？知らんけど…研究者の先生方、論文書くだけではなく現場に恩恵をお願いします。経済効果が期待できないので協力者は少ないと思いますが…偉そうに申し訳ありません。後半話がまたずれました。ご勘弁を。

第2 湿原の刈り取り作業

丹波森林組合への委託事業（阪神北県民局）



78歳の森林組合員さん作業中

を聞くと、現役は引退したが家に居ても何もすることがないとのこと。山に入って作業をしているほうが、調子がいいそうです。作業

第2湿原の再萌芽刈り取り作業は、この数年「北摂里山愛す会」との協働で実施してきました。全体の5分の1ぐらいの処理ができたのでは。しかし広範囲もしくは急傾斜地ということもあり、専門の森林組合をお願いしていたようです。2月より作業が始まっていました。2月14日のblogにも掲載していますが、さすがプロ！…といっても来られているのはほぼ現役引退組。60代から80歳近い方がメイン（3人ほどのチームですが…）。お話を



毎日青垣から来られました



若手？の方が刃の研ぎ方の説明

は比較的細い再萌芽樹木。27 ccクラスの刈り払い機（草刈り機）で作業されていました。通常農家で使う刈り払い機は24 ccクラス。少し重いようですが山林用にはパワーが必要とのこと。

驚いたのは装着する刃。笹刈りの刃に**ノコギリのようなアサリを付け作業（※貝ではありません）**。ノコギリ刃の刈り払い機と化していました。その分飛び散りが多く、安全具は徹底されていました。やはりプロ。盗めるところは盗んでやろうと、作業を無理やりとめて話を聞いたりして大変お邪魔をしてしまいました。皆さん心優しい方たちでありがたい限りです。20代の若手のチームと一緒に作業される日もあり生き生きと楽しそうでした。**林業で暮らしが成り立つことを祈ります。**



これがアサリ（歯振）をつける道具

定期活動

★4月13日（土）定期基礎調査・巡回、観察、外来種除去 ゴミ処理 5名の参加

目的	市内	市外
丸山	14	10
ハイキング	19	2
その他	0	0

来場者数 計 45 人
（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10:20	16.4℃		
第3湿原	10:55	【18.1℃】	29.0 μS/cm	6.6
視点場	11:10	17.1℃	26.4 μS/cm	6.5
第1湿原	11:25	【22.4℃】	29.6 μS/cm	6.7
第2湿原	12:03	【17.1℃】	33.7 μS/cm	6.9

前回の活動日に「次回（今回）」には桜も**タムシバ（囃む柴・田虫葉）**も終わっているでしょうね」



タムシバ

れ気味？自然は予測不能です。

と話をして別れました。ところが3月末から気温が低く雪まで降りました。しかも遅霜も。タムシバは咲き掛けて多いかな？と思っていたら、いつの間にか花の盛りは終わっていました。やっと**コバノミツバツツジ（小葉の三葉躑躅）**が咲き始め。満開にはもう少し時間がかかりそうでした。昆虫や植物の活動は遅



コバノミツバツツジ



クロモジ満開

駐車場の**クロモジ**は満開。かわいい黄色で出迎えてくれます。横の**ウリカエデ（瓜楓）**も咲き始め。木本類の花は木のイメージと違う花を咲かせます。よく知らないだけです。

ハイカーの方も多く、すれ違ったりに挨拶を。湿原で基礎調査中には「何か珍しいものが出てます



咲きかけのウリカエデ

か？」との声かけも。残念ながら湿原準備中です！まもなく爆発的に発芽が始まる予定。又マガヤには少々ご遠慮願いたいのですが…。ところが厚かましい厚かましい！また冬場の刈り取りに心が萎えます…。火事になったらええねんと言ったら怒られる。火事になっても私たちでは絶対ありませんのでよろしくお願いします。誰もタバコ吸いませんし。



春の予感の第1湿原



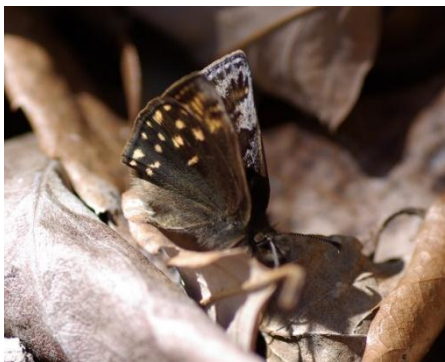
指先ではなくイシモチソウ新芽

ゼツタ状葉の形が袴に似ている？猩々緋の花と袴のような葉。猩々袴！で納得しましょう。白花もあります…色は変異が多く本当に様々です。

そうそう忘れていました。**衝撃映像！**（会員さん撮影）大好きな蛇さんのネタ。見つけたときはアオダイショウの黒色体と思っていたのですが、どうやら**シマヘビ（縞蛇）の黒色体（カラス蛇）**だったようです。思わず手が出て捕まえてしまったのですが、なんと口から**アマガエル（雨蛙）**が飛び出しました！びっくり！お互い冬眠明けの動きの悪いところを、見事にキャッチしたシマヘビ。よくやった！エライ！目覚めた途端食べられたアマガエル。残念！運命と思いなさい！カエルは私のおかげで何とか元気に逃げていきました。カエルの皮膚は少し消化液で溶けかけているようでしたが…私のしたことはいけないことだったのでしょうか？少し悩みます。漁夫の利や！全く意味不明です…カエルの恩返し、蛇の祟りか？これも少し悩みます。



シマヘビの口から出てきたアマガエル



ミヤマセセリ

が、かかるのか（休眠打破しない）。昨年と逆の現象が起きているのでしょうか？不思議だらけです。

昆虫では**テングチョウ（天狗蝶）**が出ていました。タテハチョウ類がもっと出ていい時期ですが見当たらない。どうして？

今の時期しか見られない**ミヤマセセリ（深山掬）**も多く確認。4月前後で消える蝶だそうです。ギフチョウはあと少しというところでしょうか？これは運次第で見られる蝶ですが。トンボも遅く、シオヤトンボが出てきてもいいところですが未だ確認できず。どんな条件が必要なのでしょうね。暖冬だと春が早いような気がします。植物の種などは暖かいと休眠が深くなり、発芽に時間

連絡・2019年度総会 6月8日（土）13：30～（自然休養村センターを予定）

・ガイド養成研修は7月27日（土）讃岐まんのう公園に決定しています。ご了承を。

次回活動日 4月28日（日）5月11日（土）・26日（日）作業6月8日（土 午後は総会）